

ENDURANCE **グリップヒーターHG 取り付けについて** JQK2Y530G1
適合車種：REBEL250 (8BK-MC49)

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
 ご使用前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
 いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

警告 ※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な
 事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

●接続する前に

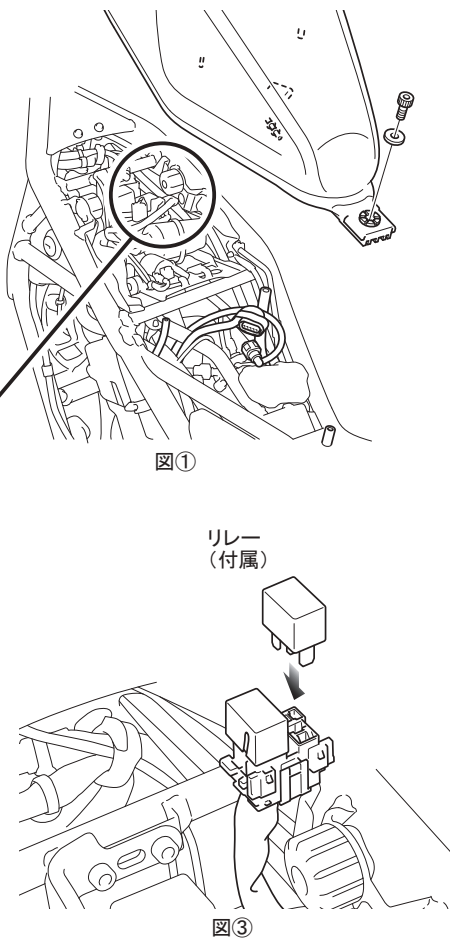
本説明書に記載の無い各部の取り外し方については車両のサービスマニュアルを参考にして
 ください。また、セット内容に不備が無いかを確認してください。

●構成部品●

- ・リレー・・・1個
- ・スロットルパイプ・・・1個
- ・ステーセット・・・1個

<リレーの取り付けについて>

1. バッテリーのマイナス端子をいったん取り外します。燃料タンクを取り外して、リレーが取り付けできるようにしておきます。(図①)
2. リレーのカバーを取り外します(図②)
3. カバーを取り外したところにあるカプラーに付属のリレーを接続します。(図③)

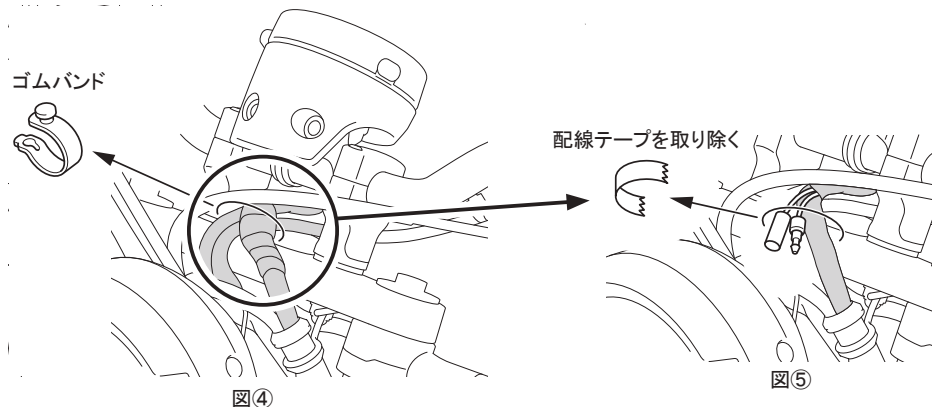


4. 取り外した逆の手順でもとに戻します。外したバッテリー端子も接続しておきます。

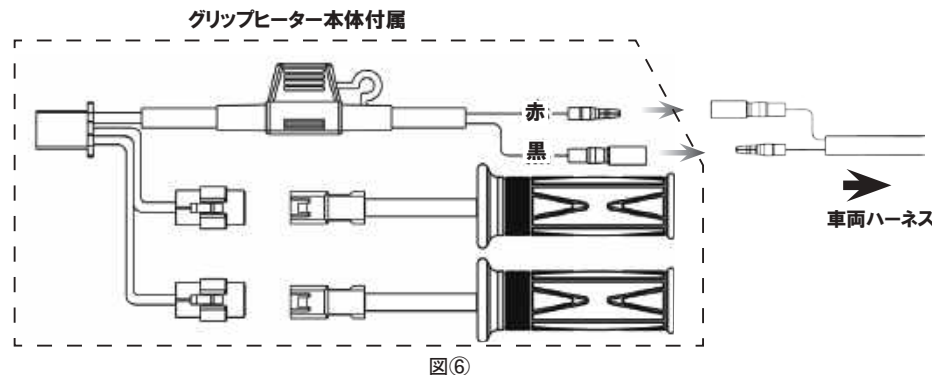
<グリップヒーターの取り付けについて>

①配線の接続について

メーター下のハーネスを束ねているゴムバンドを外し、配線テープを取り除いて、車両のオプション用ギボシ端子にグリップヒーターのハーネスを接続します。(図④、⑤)



ハーネスを接続したら、図⑥のように左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。問題無く動作すれば、グリップとスイッチは一旦ハーネスから外しておきます。



②純正グリップの取り外し

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着しているボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

③スイッチ部の取り付け

付属のステーを写真①のように、付属のカラーを間にはさんで左ブレーキレバーホルダーに共締めします。
 ※このとき、ボルトは必ず付属のボルトを使用してください。
 また、スイッチ部はハンドルを切った際に各部に当たらないように調整してから両面テープで取り付けしてください。



④左右グリップの取り付け（参考例）

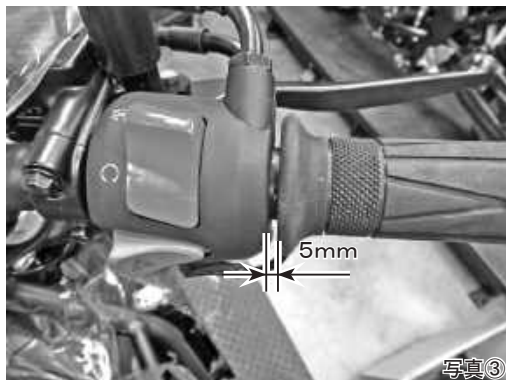
右側グリップはグリップヒーターに付属の
エンドキャップを取り付けるため、写真②の
ようにスロットルパイプの端面が右側グリップ
内端面から出ないようにしてください。

また、ハウジングとグリップ内端のクリア
ランスは5mm程度になるようにお取り付け
ください。（写真③）

※このとき、スロットル操作に問題無いか
確認して、スロットル全開状態から、手を
離して確実に全閉に戻ることを確認して
ください。



左右のグリップ共にグリップから
出ている配線の位置を確認して
から取り付けしてください。また、
右側はスロットルを回したときに
配線には絶対負荷がかからない
ようにしてください。グリップから
配線が出ている部分は弱く、
断線して破損してしまう恐れが
あります。



また、写真④のようにグリップヒーター付属の
エンドキャップを接着剤などで固定してください。



●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターの端をハンマーで叩いたり、グリップを強く
ねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがあり
ますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に1分以上は暖めないで
ください。（特に右側）。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかか
らないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離れた状態でスロットルが確実に全閉まで
戻ることを確認、点検を行ってください。

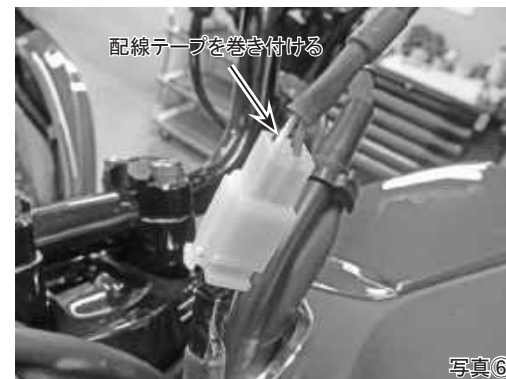
⑤配線のまとめ（参考例）

それぞれの取り付けが終わったら、車両の
ハーネスやスロットルケーブルなどに沿わせ
ながら、左右グリップ、スイッチの配線を
通してグリップヒーターハーネスのカプラーに
接続します。
配線の長さが余ってしまっている部分は
タイラップなどでうまくまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに力がか
かっているか、ハンドル操作の邪魔に
なっていないか確認します。



※このとき、ハーネスとスイッチの接続
カプラー部分は配線テープを巻き付けて
防水処理を施してください。
（写真⑥）



⑥取り付け完了

取り外したカウルなども元に戻す前に、
イグニッションキーをONにして再度、
グリップヒーターの動作確認をします。
問題なく温まったら、取り外したものを
元に戻して取り付け完了です。



・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
endurance-parts.com